

随意契約見直し計画

平成 20 年 2 月
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

1. 随意契約の見直し計画

平成 18 年度に締結した随意契約について点検・見直しを行い、以下のとおり、随意契約によることが真にやむを得ないものを除き、直ちに一般競争入札等に移行するものとし、遅くとも平成 20 年度から全て一般競争入札等に移行することとする。

【全体】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(百万円)	件数	金額(百万円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		(53.5%) 46	(73.2%) 2,800
一般競争入札等	競争入札			(12.8%) 11	(11.3%) 433
	企画競争			(19.8%) 17	(5.3%) 204
随意契約		(80.2%) 69	(94.7%) 3,621	(32.6%) 28	(15.2%) 580
合 計		(100%) 86	(100%) 3,825	(100%) 86	(100%) 3,825

(注1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(百万円)	件数	金額(百万円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		(0%) 0	(0%) 0
一般競争入札等	競争入札			(0%) 0	(0%) 0
	企画競争			(0%) 0	(0%) 0
随意契約		(0%) 0	(0%) 0	(0%) 0	(0%) 0
合 計		(0%) 0	(0%) 0	(0%) 0	(0%) 0

(注1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等以外の者】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(百万円)	件数	金額(百万円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		(53.5%)	(73.2%)
				46	2,800
一般競争入札等	競争入札	/		(12.8%)	(11.3%)
	企画競争			11	433
		(19.8%)	(5.3%)	(1.2%)	(0.3%)
		17	204	1	12
随意契約		(80.2%)	(94.7%)	(32.6%)	(15.2%)
		69	3,621	28	580
合 計		(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
		86	3,825	86	3,825

(注1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

2. 随意契約見直し計画の達成へ向けた具体的取り組み及び移行時期
 随意契約見直し計画の達成に向け、以下の措置を講じ、随意契約
 によるものが真にやむを得ないもの以外、遅くとも平成20年度から
 一般競争入札等による契約に移行することとする。

(1) 総合評価方式の導入拡大等

情報システム等、既に総合評価落札方式が導入されている調達分野に加え、総合評価落札方式によることが必要と考えられる調達分野については、総合評価落札方式による一般競争入札の導入を図るべくガイドライン策定の検討を行う。

(2) 複数年度契約の拡大

一定期間同一業者と継続して契約することが望ましい業務等については、複数年度契約の可能性を検討し、可能なものから順次実施する。

(3) 入札手続きの効率化

一般競争入札等の移行に伴う業務量の増加を勘案し、電子入札の導入や公告の方法等について検討を行う。

(4) その他

上記措置を講じるため、当機構の事務連絡協議会財務会計部会において検討を行う。

(注) 個別の契約の移行時期及び手順については、「随意契約の点検・見直しの状況」に記載